

ひらか 連携ニュース

今年度の「地域医療連携セミナー」は、今年開設した入退院支援センターや退院支援専従看護師の活動の紹介を兼ねて、退院支援における院内・外の連携強化に向けた取り組みについて報告いたしました。

今回は、連携セミナーでの報告事項やアンケート結果について、その一部をご紹介します。

地域医療連携セミナー開催！

日 時：平成29年11月30日（木）

場 所：平鹿総合病院 講堂

テ ー マ：「当院の退院支援強化に向けた取り組み」

参加職種：医師・薬剤師・保健師・看護師・訪問看護師・理学療法士・MSW・
ケアマネジャー・施設管理者・行政担当者等

参加者：128名



報 告

1. 退院支援におけるMSWの関わりについて
医療福祉相談室 MSW 中田 琢也さん
2. 生活の場に戻す退院支援～退院支援専従看護師の活動～
入退院支援センター 退院支援専従看護師 佐藤泰子さん
3. 地域包括ケア病棟からの報告
6階もり病棟 看護主任 新田 広子さん
4. 暮らしを支える医療と介護を地域へつなぐために
地域医療連携室 看護主任 大沢 知佳



今回は、退院調整部門の担当者と地域包括ケア病棟の看護師から、退院支援におけるそれぞれの役割や当院の退院支援の流れ、具体的な取り組みについて、事例を交えながら報告しました。

患者さんやご家族が、退院後も住み慣れた生活の場で自分らしく暮らすためには、医療者が患者さんの生活背景や想いをよく聞き、退院後の生活をイメージしながら支援にあたること、また、患者さんやご家族が病状や退院後の治療を理解し、どのように療養生活を送るか意思決定できるよう支援すること、そして地域の多職種と情報を共有し、患者さんにとっての最善をともに考えていくことが重要であることを確認しました。



アンケート結果

- ・マニュアル作成や入退院支援センター等参考になった。かかりつけ医の依頼を連携室で行っていることもびっくりした。当院でも参考にしていきたい。
- ・退院支援での問題を具体的に説明し、介護側からどういう情報を提供してもらいたいかなど、互いの立場でディスカッションできる内容にしていただけたらと思う。
- ・今後も医療と福祉の連携の機会を設けていただければよいと思う。
- ・病棟Nsに、在宅での暮らしの目線でのアセスメントを意識してもらいたい。すぐに「施設ですか？」と言わないでほしい。
- ・病棟によって退院支援の対応にバラツキがある。統一した対応をお願いしたい。



貴重なご意見を、今後の退院支援に活かしていきましょう！